

人口減少が進む過疎の町であっても、内外から人がつどい、ワクワクがたくさん起こるにぎやかな町をつくっていこう。」そんな思いが込められた、美波町のまちづくりキャッチフレーズ「にぎやかそ」。地元住民も移住者も“ごちゃませ”になって、みんなが笑顔で未来を語れる町「にぎやかな過疎 美波町」の“にぎやかそ”なニュースを紹介していきます。

## 「海女さん、楽しいよ!」 阿部の漁師・角地美聡さんに聞く、海の仕事と地域の魅力@阿部

海女として漁業に取り組む角地美聡さん(阿部)は、高校を卒業してすぐの2015年に大阪から移住してきました。きっかけは高校3年生の夏に「あまちゃん養成塾」(伊座利)に参加したこと。現在2人のお子さんを育てながら漁の仕事続ける角地さんに、海の仕事の楽しさや地域の魅力について聞きました。



**Q1、**大阪の女子高生だった角地さんが、海女の仕事に興味を持ったきっかけは？

**A1、**テレビ番組の影響で、海に潜ることが楽しそうだなとずっと思っていて、漠然と漁師に対する憧れがありました。高3の夏に伊座利の「あまちゃん養成塾」に参加して、そのまま高校卒業と同時に美波町に移住して今に至ります。最初は定置網漁を行う大敷水産で働かせてもらいながら、阿南にある伊座利のアンテナカフェでも働きました。大変なこともありましたが、自分で選んだ道だし、好きなことをやれて嬉しかったですね。

**Q2、**海女の仕事の魅力はどんなところ？

**A2、**一言で言うとすごく楽しいところですね！もっとみんなに体験して欲しいです。海に潜ることも楽しいし、アワビを見つける楽しさもある。私はまだまだ新人で、たくさんの量を獲ることができないので、獲れた時は、そのアワビがとても愛しく思えます。(笑)自分が頑張った分だけの成果が出るので、すごく張り合いのある仕事だと思っています。

**Q3、**地域の好きなのところは？

**A3、**人との関係性がしっかりあって距離が近いところですね。私が子育てをしながら大好きな仕事を続けられるのも、地域の人がいてくれるからこそ。誰かが見守ってくれている安心感があるので、仕事もしやすいし、住みやすい。大阪にはない地域の魅力だなと感じます。今年は中止になり残念ですが、阿部の秋祭りも大好き!!! 美波で一番の祭りだと思っています！

## お知らせ

美波町の地方創生に関する新聞記事や雑誌が以下の場所でご覧いただけます！

日和佐地区：日和佐図書・資料館1階 / 由岐地区：由岐ふれあいホール(ぽっぽマリノ2階)